

第5回 砂川市立小中学校統合準備委員会 会議記録

○日 時 令和5年11月1日(水) 18:00~19:17 (所要時間=1時間17分)

○会 場 砂川市役所 2階 大会議室

○出席者

【委 員】 12名

【教育委員会】 6名

【事務局】 5名

○傍聴者 3名

○議事記録

1. 開 会

2. 挨拶 統合準備委員会会長

3. 協議事項

①義務教育学校の学校名について

【議事の内容(要旨)】

事務局

① 義務教育学校の学校名について

前回、欠席された委員もいらっしゃいますので、再度、簡単に説明しますが、9月1日から10月2日まで実施しました学校名の公募につきましては、前回の議案と一緒にお配りしたように、応募件数183件でありました。本人の意思を尊重する意味で、誤字と思われる部分につきましても修正せずに原文のまま記載させていただいています。その応募された学校名の中から、5つの校名候補の選定の視点「砂川をイメージできる校名」「覚えやすい校名」「書きやすい校名」「言いやすい校名」「親しみや愛着を持てる校名」により3案に選定をしていただきたいと思います。市内に唯一の学校となること、また今後、恐らくですが砂川市がなくなるまでずっと変わらない校名であることなども考慮しなければならないかと思えます。前回の本委員会において「多数決で決めるものではない」といった意見や「公募してくれた方の想いを大切にしてほしい」といった意見をいただきました。また、「公募の過程を大切に、多く出てきたものから選ぶのが良い」「奇をてらった名前ではなくシンプルなものが良い」「砂川という名前の入ったものが良い」「学園と付くと分かりにくい」といった意見など、委員から様々な意見をいただきました。その意見を踏まえながら、事務局でも校名候補の選定を検討させていただきました。公募により集まった校名は183件で、それぞれ理由が記載されているものや、記載されていないものもありますが、応募していただいた時点で、その名前に対する想いや願いというのは、皆等しいものだと思います。そこからどれかを選ばなければならないとなったときに、誰もが納得できる客観的な理由が必要だと思えますが、その理由を示すのが非常に難しいと思います。そのよう

に考えた中で、事務局では、数が多いというのは重要な要素であると考え、かつ、校名候補選定の5つの視点にも合致していることから、次の5つの中から新しく砂川にできる唯一の学校の名前を候補として、3つ選んでいただきたく、提案させていただきたいと思います。その5つは議案にも記載していますが、応募された学校名の中で応募数の多かった「砂川学園」「砂川小中学校」「砂川義務教育学校」「砂川学校」「砂川小中一貫校」の5つになります。

なお、本日、参考として、令和5年4月1日現在の全国の義務教育学校の一覧をお配りしており、道内外、国公立合合わせて207校ありますが、その内「学園」が105校、「小中学校」が39校、「義務教育学校」が28校、「学園義務教育学校」が14校、「学校」が9校などとなっています。前回「義務教育学校なのに、小中学校という名前はふさわしくないのでは」との意見を頂きましたが、全国で39校ありますので、事務局としては問題ないと考えています。

会長

事務局から説明がありましたが「公募しているので、数は無視できない」ということは、理解できると思います。応募総数が183件あったので、「砂川学園」の応募数18件というのは、応募総数の10%くらいになり、応募が多かった上位5つの応募数を合わせると、おそらく応募総数の30%以上になります。前回の会議は、「数も大切だけど、『応募が多かった上位5つ以外の校名に込められた思い』も大切なのではないか」ということで意見が分かれて、校名を選定できるような状況ではなく、無理に校名を選定しても納得できない委員が出てくると思ったので、延期をさせていただきました。今回の会議の前に、私と事務局で2時間くらい議論して、いろいろと考えて、個人的な結論と統合準備委員会の会長としての結論を持ってきました。全員が「これで良い」と思える校名が出れば良いですが、前回の会議の様子から多分そうはならないと思いますので、会長としての結論は「これなら良い」「皆さんと意見がほぼ一致し、妥協できる」「これが将来の砂川にとって一番良い校名になるだろう」という校名が選定できれば良いと思います。先ほど事務局から説明があった候補選定の視点、「砂川をイメージできる校名」「覚えやすい校名」「書きやすい校名」「言いやすい校名」「親しみや愛着を持てる校名」の5つが唯一の選定基準になっています。それを踏まえて、皆さんの意見を伺いたいと思います。

委員

候補を3つ選定するなら似通った校名は排除して「砂川学園」と「砂川学校」と「どれか1つ」が良いと思います。候補の残り1つは、現状の砂川市の教育方針は「何かを一貫して特化したものがある」というものではなく、一般的な国の基準・指針に沿った教育方針だと思うので、王道の「砂川義務教育学校」か「砂川小中一貫校」のような校名になると思います。この先の砂川市の教育方針がどのようになるかは分かりませんが、「砂川学園」や「アルファベット表記の校名」は、留学に力を入れていたり、海外の姉妹都市との交流があったりするイメージがあります。

会長

他、意見ありますか。

委員 前回いただいた資料を見て、いろいろな想いがあることがよく分かりましたが、私の想いとしては、幼稚園の子ども達が小学生になった時に、自分の学校の名前をすぐに覚えられるような校名が良いと思います。「学園」という校名は、あまり身近な感じがしませんでした。応募の結果を見ますと、「学園」と付く校名が意外に多いことから、そういう校名もありなのかなと感じています。私が個人的に気になった校名に「オアシス学園」という校名があって、カタカナですし、小さい子には少し意味が難しいと思うのですが、砂川の特徴として「オアシスパーク」とか、いろいろ「オアシス」という名前が付いているものもありますし、込められた想いとして「子ども達が未来に向かって、希望を持って、『オアシス』という緑の中にある学校に通えるように」という願いを読んで、明るい希望を持った学校になりそうだと思います。ただ、それが本当に良いのか、悪いのかというのは分からないですけれども、例えば、「砂川オアシス学園」も良いのではないかと思います。

会長 その他、どうですか。

委員 「砂川義務教育学校」は、少し硬いイメージがあり、「砂川小中一貫校」は、小中学校が統合してできる学校なので、分かりやすく良いと思いますし、「一貫性がある」とか「統一された」という意味合いもあって良いと思っていましたが、実際に通うのは子ども達ですし、「親しみや愛着を持てる校名」という選定基準としては、「この学校に通った」「この学校を卒業する」ということを一番大事にしてほしいと思うので、18件と一番応募が多かった「砂川学園」という校名が一番良いと思います。

また、私は、アルファベット表記の校名というのは思い浮かばなかったのですが、もしかしたら、子ども達の応募の中にはアルファベット表記の校名も多かったのかもしれないと思いました。大人目線も大事だとは思いますが、通う子ども達の想いも大事にしてほしいと、地域性も大事だと思うのですが、何よりも、現在、そして、これから通う子ども達の想いを一番大切にしてほしいと思います。

会長 「子ども目線で」という意見でした。その他、どうですか。

委員 事務局に伺いますが、本日の資料で全国の義務教育学校の一覧が付いていると思いますが、昨年度、先進地視察ということで4校の学校に行かれたという報告がありましたが、その時の校名が資料に見受けられないのは何故でしょうか。

事務局 昨年度、視察に行った学校は、義務教育学校ではなく小中一貫校ですので、資料には名前が載っていません。

委員 事務局から候補選定の視点の説明が改めてされましたが、資料には「以下の5つの視点を重視し、3案に選定します」と書いています。「砂川をイメージできる校名」なので、砂川をイメージできない校名は、候補から外すしかないと思いま

す。例えば、本当に申し訳ないのですが、「小中学校」というのは砂川をイメージするのは難しいと思います。このように、候補選定の視点に基づいて確認し、相応しくないものは候補から外していき、残った候補の中から選ぶのが良いと思います。今のままだと候補が多すぎて、どれを選んで良いのか分からないというのが私の正直な意見です。

会長

前回、『砂川』と付いている校名が良い」という意見がありましたが、実は、応募された校名の中に「砂川」と付いている名前は意外と少ないです。その中で、選ぶという話になったときに、「砂川学園」とか、この中で一番体を成しているのが「砂川義務教育学校」で誰が聞いても分かるものだと思います。「学園」だと何の学校か分かりません。この中で「砂川」と付く校名を見ていったときに、皆さん何か目に付く校名はありますか。多分、それほど多くはないと思います。皆さん、ここで候補を1つずつ出すのは、どうでしょうか。その他の中に私の書いた校名もあり想いもあります。想いは皆あると思いますが、それをどこまで引っ張り上げていくか。皆さん、これほど議論していますが、私の中では、183の校名の全てを見て、「この校名になりました」という形にしたいです。数で決定したとしても一番体を成している校名、あるいは、砂川らしい校名にしたいのです。「その他」の校名をどのように扱えば良いかという話になると思うのですが、どうですか。でも、これで「1人1つ校名を選びましょう」となって収拾がつかなくなったのが前回です。「アンケートを書いたら良い」とか「5つくらい選んでから選ぶのはどうか」とか沢山意見はありましたが、そうすると、この中で、また数の多さが出てくるので、それはどうなのかという話です。だから、その辺のところを踏まえて、前回、私は「決められない」と判断をさせていただいたのですが、また今日も同じになる可能性はあります。会議の前に副会長と話して「私と意見が違う」ということも分かりましたので、皆さんもいろいろな意見を持っていると思います。

委員

まずは、候補選定の視点5つ、これはこれで良いと思います。私は、もう1つ加えて欲しかったのが「学校に対する想い」という部分があっても良いと思っています。私は、どちらかというとな数だけというのは信用ならない部分があって、もしも、それぞれの委員さんの想いを直接表現できるとしたら、「私は、これが良いと思う」というのを出し合うしかないと思います。それぞれの考えを聞いて、具体的に表現するとしたら、その方法しかないと思います。

会長

委員が想い描いているのは、一定以上応募があった校名以外から選ぶという感じですか。

委員

全部含めてです。皆さんからいろいろな考えが出てくると思います。その中には、とても良い考えがあると思いますので、それを踏まえて選定するという形です。

委員

校名選定については、前回も悩みましたし私もいろいろ考えました。「数でいくのか」それとも「応募数が少なかった校名まで捨てるのか」。そこで、何に立ち返れば良いのかと考えた時に、募集をかけた時のことを思い出しました。あの時には、「砂川」に限るとは言っておらず、応募資格を3点上げて、その資格に合致する方については「未来の子ども達のために学校名を一緒に考えませんか」ということだったと思います。ですから、「砂川」と付いている校名もあったし、付いていない校名も含めて出てきました。「砂川」と付いていなくても想いが読み取れます。これをどうしようかと考えたときに、3つに絞るという話もありましたが、4つもありかなと思いました。だから、「砂川」と付いている校名を2つ選び、もう2つは委員が考えを述べ合って4案選出し、それを子ども達に聞いて、再度、統合委員会で話し合い、教育委員会、議会に上程という流れもあるのかと考えました。そのときに、「砂川」と付いた中で、収まりが良い校名は何かと考えたときに、制度上で「小学校」「中学校」というのがこれまでであり、そして、義務教育を一体的に扱うという意味において「義務教育学校」ということになり「〇〇義務教育学校」というのが制度に合致した校名なのではないかと私は思います。ただ、「砂川市立砂川義務教育学校」というのは12文字になりますので、小学校1年生の子ども達が覚えられるかなという思いがあります。全国的には「学園」という校名が増えてきておりますので、そういう意味で言うと「砂川学園」の方が良いと思います。あとは事務局の提案のとおり、数でいくのか、「砂川」と付いている校名から選ぶかだと思います。他に思ったことは、義務教育学校でも「小中一貫校」という校名になった事例はありますが、私が思ったことは、「義務教育学校」という制度に移行するとき何が一番大事になってくるかということ、小学校と中学校の垣根を取り払って、一体的に取り扱うということが義務教育学校の肝だと思えます。そうする中で、あえて校名の中に「小学校」「中学校」を連想させる「小中」を入れるのはどうかと思いました。

会長

皆さん、どうしますか。何か自分の意見を出すべきか。紙に書くなり、発言するなり、応募数が少なかった校名もすべて含めて選定するのかどうか。

委員

前回話したことも含めてですが、他市町の事例が紙面で示されましたが、そこから私達は何か学ばなくてはいけないと私は思っていますが、この関係で結果的が一番問題だったのは、応募が1件だった校名に決まったということです。ただ、手続的に行くと、民主主義の原則に従って進めており、それ自体は否定されるものではないとも思っています。ちなみに、ご存じの方も多くいらっしゃると思いますが、最初に出た候補がダメになって、次の候補もダメになって、最後は自治体のトップが政治介入みたいな形で決めており、統合準備委員会の意見を飛び越えて最後決定したということなのですけど、そのようなことをしてはいけないと思います。であるならば、あれから何を学ぶかということですが、私は1つしかない候補のものを、委員が「それは良い」ということで、多分上程していった流れになると思いますが、適切ではないかもしれませんが、「マイナーなものを引き上げて悪い」ということではないけれども、「引き上げるには一定程度の数がないと駄目」ということだと思います。そのため、ある程度、そういう意味におい

て数の論理みたいなものを働かせなければならないと思います。例えば、ここで1つしかない校名候補でも「それが良い」という委員が1人だけだとすれば、それはここの中で挙げるべきではないと思いますし、逆に複数人の委員が「これが良い」と言うのであれば、それは自信を持って、ここから挙げるべき校名ではないかと思います。

会長

他市町の事例のことは、前回欠席された方は分かりますか。公募した学校名で1件のみの案が採用されて、それが問題になっているという話です。だから、数の論理を無視できないということは、そこから学んでいます。皆さん、どうでしょうか。「事務局案が良い」と思えるのであれば「この5つの中からどれを選びますか」となりますが、「5つ以外に、もう少し校名を出そう」という人が多ければ、その中で議論しなければなりません。皆さんに候補を出していただくということであれば、決めていくのが難しくなっていくと思います。皆さん、この事務局案は、どうでしょうか。「数」というのは、私の中で引かかる1つです。公募だから仕方ないかもしれませんが、「他に良い校名がないのか」という気持ちもあります。どれが選ばれるのか、それは一番無難な名前、誰が聞いても「そうだよね」「良いよね」と思われるような校名ではないかと、私の中で納得しました。私も校名を応募しましたので、「なんで私の校名が選ばれないのか」と思うこともあります。選ばれなかったとしても私の想いは応募結果として残ることになりますので、そのことを踏まえて、今日決定をしなければいけないという気持ちでいます。皆さん、どうでしょうか。

事務局

本当に子ども達のため、砂川市のために、皆さんが思っていたことが伝わってきます。本当に、改めて感謝いたします。今の話の内容を折るというわけではありませんが、事務局の考え方をもう一度伝えさせていただきますと、ご存知の通り、今回183件という応募が寄せられました。この応募数の多さは予想を遥かに超えるもので大変嬉しく思いましたし、市民の皆さんの関心の高さを示していると思いました。今回、学校名の候補選定にあたって、実際に教育委員会でも、「数の論理」ということで言っていますが、これは結果論であって、教育委員会内でも異なる意見がありました。それぞれの提案に、いろいろな想いがあるというのは感じましたので、「数だけが頼りではない」と思っていたのですけれども、議論を重ねて、最終的には先に言いましたとおり、誰もが納得できる客観的な理由が必要だと判断いたしました。その中で現在候補としている、例えば、「砂川学園」「砂川小中学校」「砂川義務教育学校」これらの候補を合わせると44件になります。この数字は、応募総数183件の約4分の1となります。言いたいのは、本当に多くて印象的な183件という数字、その中でも約4分の1を占めているという事実は重要な要素だと最終的に事務局としては判断しています。仮に幾つかの候補にそれぞれ多数の応募があった場合は、「相応しい、相応しくない」という理由で、客観的に落とすことができますが、応募数がとても少ない候補を選んだ場合は、なかなか説明が付かないのではないかと判断をしたところです。これは、単に数が多いということではなく、応募いただいた全ての提案を尊重するという姿勢で、事務局としては提案をさせていただいており、改めて、事務局

の考え方を、再度、述べさせていただきました。

会長 皆さん、どうでしょうか。

委員 この場で校名候補を書く機会があれば、事務局の方の想いも受け止めた上で、当然、私は書きますので、ある程度、結果はまとまっている気がします。

会長 皆さん、どうでしょうか。校名候補をそれぞれ書くのはありますか。それで、皆さんも納得できるのであれば、書くということによろしいですか。

事務局 本当に、数に拘って申し訳ないですが、仮に、今1つ選ぶ場合、応募数が多かった校名として、例えば、「砂川学園」への1票と他の校名への1票を同じ扱いにすることなどは、少し不公平感があると思いますので、出来れば、数が多いという要素を考慮していただきたいと思います。

会長 事務局と調整のため休憩させていただきます。

【休憩】

会長 委員から「校名候補を紙に書いた方が良い」という要望がありました。先ほども言ったとおり、皆が納得して、校名を決定したいと思います。委員と同じで「紙に書いた方が良い」という人は挙手をお願いいたします。

いらっしゃったので、それぞれ3案を紙に書くこととしてよろしいですか。それでは、皆さん、お願いします。

委員 応募数が1件だけの校名を選ぶのは駄目ですよ。先ほどからいろいろ議論してきて、例えば、1件しかない校名候補を書いた場合、この場で「良い」となっても選ばれないということですよ。

会長 皆が「良い」と言えば良いのでないですか。

委員 応募が1件しかないのに、それで良いのですか。委員は、決めてしまえば良いだけなので、それでも良いですが、事務局としては、どうでしょうか。

会長 1つしかなかったら、多分、採用されないのではないですか。だから、それは書いても良いと思います。

委員 その場合、応募が1件しかない校名候補を主張する委員がいるかもしれませんが、どうでしょうか。

会長 ただ、数の論理が働きますので。

委員 　　では、多数決で決めるということですよ。多数決は駄目だと最初に言われていますよね。

事務局 　　ここで「数の論理」ということになると、最初に公募で183件頂いたことと同じことを、もう一度繰り返されると思います。その結果が変わったときに、我々が説明するとしたならば、正直、苦慮します。今ここで、「とりあえず書きましよう」ということで進んでいただいたのが、どのような取り扱いとなるのか。先ほど言いましたけども、例えば、公募で「砂川学園」が18票あった、でも、今から選ばれる校名は1票だったら1票にしかならないので、ここの差を少し埋めていただけることを考えていただければ、説明はできるのかもしれないと思っていますのですけれども。

委員 　　私、もし書くとしたら事務局の方の想いも含めて書くつもりですし、いろいろな方の意見を参考にして書くつもりでいます。自分の考えだけを押し通す気持ちはありません。皆さんが、そういうふうに書いてくれるのであれば、大体同じような考えになると思っているのですけど。

委員 　　5つの視点を重視するという話ですよ。

会長 　　個人の意見は、個人の意見となるので、そこは踏まえて、それでも「応募が1件しかない校名候補」というなら、それはそれで良いのではないですか。皆さん、どうしますか。ただ、今後、校名を決めていかなければいけないということを考えると、応募数が多い5つの校名からも必ず入れて書いていただいた方が良いと思いますが、いかがでしょうか。それでは、3つの候補を書いていただきまとめましょう。

【各委員校名候補3案記入・集計】

会長 　　それでは、皆さんの集計を出させていただきましたので、上位の校名を読ませていただきます。「砂川学園」が10票ありました。ただし、その他に、平仮名の「すながわ学園」が3票ありました。それを13票とするか、10票と3票に分けるかは別です。その次に多いのが6票で「砂川義務教育学校」、その次が3票で「砂川小中学校」、これが上位の3つになります。それ以外は、「オアシス学園」が1票、「義務教育学校砂川学園」が1票、「砂川学園義務教育学校」が1票、「にじの鐘学園」が1票、「砂川小中一貫校」が2票、「砂川吉野学園」が1票、「砂川オアシス学園」が1票、「砂川学校」が1票、となっています。皆さん、上位3つの中で「砂川学園」がトップですけれども、「砂川学園」「砂川小中学校」「砂川義務教育学校」が皆さんからいただいた「数の論理」になるのかもしれませんが。それでは、「砂川学園」「砂川小中学校」「砂川義務教育学校」ですけれども、今度は小中学生の方に投票してもらいます。その候補として、私達の意見とさせていただきます。よろしいですか。それでは、この上位3つを候補として、統合準備委員会では決まりました。今日の案件はこれで終わりですが、事務局、何かありますか。

事務局 それでは、今回、統合準備委員会で選定していただきました「砂川学園」「砂川義務教育学校」「砂川小中学校」を3つの候補として児童生徒から意見を伺いまして、再度、統合準備委員会において、最終候補の選定ということで進めさせていただきたいと思います。そこで、小中学校にお願いですが、各学校の行事等のスケジュールもあるかと思いますが、次回の本委員会において、最終候補の協議をさせていただきたいと思っていますので、今月の13日の週あたりに、投票なのか、アンケートなのかというところを学校と相談させていただきながら実施させていただきたいと思っています。もちろん、投票用紙ですとか、説明資料などは市教委の方で準備させていただきますので、その1週間を基本に実施させていただきたいと考えています。ただ、砂小につきましては、17日に開校130周年記念セレモニーもありますし、中学校は16日が冬季の中間テストですので、そういった学校につきましては、17日から22日ぐらいまでで回収させていただきたいと考えます。明日以降、日程や方法について、個別に協議させていただきたいと考えていますので、ご協力をお願いいたします。

会長 各校長先生方、お手間をかけますが、子ども達の意見がどういう意見なのか私達も楽しみにしていますので、ぜひご協力をお願いします。今日は183件の想いの中で、この3つが決まったという意味合いで私は捉えていますので、皆さん、今後ともよろしく願いいたします。

7. その他

【議事の内容（要旨）】

会長 次の日程に関して、よろしく願いいたします。

事務局 次の日程ですが、11月28日、こちらの会場で同じ時間に開催したいと考えていますので、よろしく願いいたします。

会長 その時には、子ども達の投票結果が出ているということですか。

事務局 学校の都合にもよりますが、集計できればと考えています。

会長 それでは、皆様、本日は本当にありがとうございました。これで第5回の統合準備委員会を閉会させていただきます。ありがとうございました。

以 上